

令和元年度 完成用部品指定申請書等の記入要領

令和元年 6 月

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部

企画課自立支援振興室

国立障害者リハビリテーションセンター

支援機器イノベーション情報・支援室

目次

1. 完成用部品指定申請の概要.....	- 1 -
1.1. 募集期間.....	- 1 -
1.2. 手続き内容.....	- 1 -
1.3. 審査内容.....	- 1 -
2. 申請に必要な提出物.....	- 2 -
3. 様式作成方法の概要.....	- 3 -
3.1. 様式の作成、入力方法概要.....	- 3 -
4. 申請書類作成に関する留意事項（共通事項）.....	- 5 -
4.1. 機種依存文字について.....	- 5 -
4.2. 複数サイズがある部品の申請方法について.....	- 5 -
5. 新規申請書類作成に関する留意事項.....	- 6 -
5.1. 様式 A-2 の記入方法.....	- 6 -
5.2. 様式 A-3 の記入方法および添付 2 の作成方法.....	- 7 -
5.3. 「2 挙証資料」の記入方法.....	- 9 -
5.4. 様式 A-4（部品概要）の記入方法および添付 A-4-2 の作成方法.....	- 9 -
5.5. 様式 A-5（工学的試験評価）の記入方法および添付 A-5-2 の作成方法.....	- 9 -
5.6. 様式 A-6（フィールドテスト結果）および様式 A-7 の記入方法.....	- 10 -
5.7. 様式 A-8 完成用部品サンプルの返却.....	- 12 -
6. 継続・変更・削除申請書類作成に関する留意事項.....	- 13 -
6.1. 様式 B-2、様式 B-3 の記入にあたって（必要事項等）.....	- 13 -
6.2. 様式 B-2 の記入方法.....	- 14 -
6.3. 様式 B-3 の記入方法および添付 2 の作成方法.....	- 15 -
7. 出荷数調査作成に関する留意事項.....	- 16 -
7.1. 様式 C-1 の記入方法.....	- 16 -
7.2. 様式 C-2 の記入方法.....	- 16 -
8. 電子媒体の作成方法.....	- 17 -
8.1. ファイル名の変更方法.....	- 17 -
8.2. 電子媒体の作成方法.....	- 19 -
9. 印刷物の作成.....	- 19 -
10. 申請部品サンプルについて.....	- 19 -
11. 提出方法および問合せ先.....	- 20 -
11.1. 様式 C-1/C-2 に係る提出方法.....	- 20 -
補足 1 Excel ファイルにパスワードを設定する方法.....	- 21 -
補足 2：機種依存文字.....	- 22 -

1. 完成用部品指定申請の概要

1.1. 募集期間

令和元年7月1日（月）～9月30日（月） ※必着

1.2. 手続き内容

- (1) 新規指定申請
- (2) 継続・変更・削除申請

※「変更」とは、型番や価格等の変更を指します。

※継続申請に併せて、申請部品の出荷数を報告していただきます。

※前年度から変更がない場合であっても、継続の申請が必要となります。

1.3. 審査内容

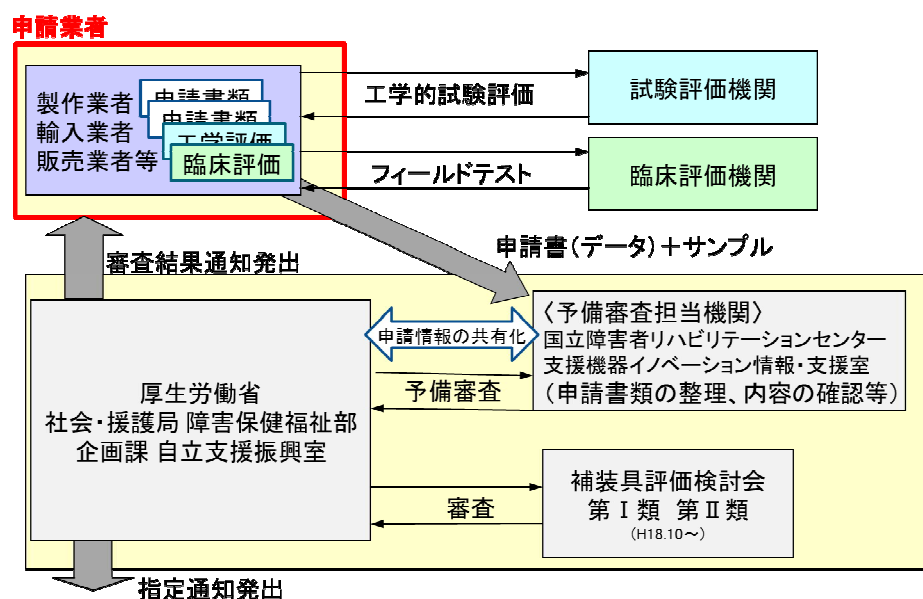
障害者総合支援法における補装具費支給制度の、義肢・装具・座位保持装置の完成用部品を指定するにあたり、事業者から申請のあった部品を下記の点から指定の可否等を審査します。審査結果に基づき、年度末に障害保健福祉部長通知で完成用部品を指定します。

なお、申請書類は、原則的に情報公開の対象となります。知的財産権等の事情で非公開を希望する場合にはあらかじめ申し出てください。

- フィールドテスト結果
- 工学的試験評価結果
- 価格根拠

※継続・変更・削除申請については、型番や価格等の変更内容、輸入部品の価格根拠等について審査を行います。

図1 申請から審査、通知までの流れ



2. 申請に必要な提出物

◎・・・必須 ○・・・場合により提出

No.	提出物の 種類	内容	記入要領 参照 ページ	電子ファイル							印刷 物	サン プル	備考
				EXCEL				PDF	JPEG	格納先 (階層、フォルダ)			
				1 新規申請 (申請事業者毎)	2 拳証資料 (部品毎)	3 継続申請 (申請事業者毎)	4 出荷数調査 (申請事業者毎)						
1 新規申請													
1	様式(目次)	目次	P4	◎		◎		◎		最上位階層			
2	様式(A-1)	義肢装具等完成用部品の指定申請書	P4	◎				◎		最上位階層	◎		
3	様式(A-2)	新規申請部品一覧	P4、P6	◎				◎		最上位階層			
4	様式(A-3)	新規申請部品の価格根拠	P7～P9	◎						最上位階層			
5	様式(A-4)	部品概要	P9		◎			◎ 一つの ファイル に統合		「新規申請」			
6	添付(A-4-2)	部品概要補足資料(組立マニュアル等)	P9		◎								自由様式。原則、必須
7	様式(A-5)	工学的試験評価概要	P9～P10		○					「新規申請」			工学的試験評価が必要な場合必須 複数部品で共通の評価を適用する場合は、一番 若い申請番号のみ作成し、他は省略可。
8	添付(A-5-2)	工学的試験評価補足資料(試験報告書、 試験結果証明書等)	P9～P10		○								自由様式。必要に応じて提出
9	様式(A-6)	フィールドテスト結果	P10～P12		○					「新規申請」			フィールドテストが必要な場合必須 複数部品で共通の評価を適用する場合は、一番 若い申請番号のみ作成し、他は省略可。
10	様式(A-7)	フィールドテスト被験者リスト	P10～P12		○					「新規申請」			
11	様式(A-8)	補装具等完成用部品申請のために提出頂 いたサンプルの返却について	P12	◎						最上位階層			
2 継続・変更・削除申請													
12	様式(B-1)	義肢装具等完成用部品の継続・変更・削除 に関する申請書	P13			◎		◎		最上位階層	◎		
13	様式(B-2)	完成用部品(既収載部品継続・変更・削除) 一覧	P13～P15			◎		◎		最上位階層			既収載部品で、品番の統合や、分割して掲 載し直す場合には、様式 A-4 の部品概要を 添付すること。
14	様式(B-3)	既収載部品の価格根拠	P15			◎				最上位階層			輸入部品および国内製造部品で価格変更 申請を伴う場合は必須。
15	様式(C-1)	出荷数調査(一般部品)	P15～P16				◎			最上位階層			
16	様式(C-2)	出荷数・販売価格調査(メーカー名・型番不 特定項目に対応した部品)	P16				◎			最上位階層			
3 全申請共通													
17	添付1	会社概要(申請事業者の概要がわかるパ ンフレットなど)	－					◎		「会社概要」			
18	添付2	インボイス等輸入通関の際の金額の証拠 となる書類の写し	P9、P15					◎		「添付資料」			輸入完成用部品に係る申請で必須
19	添付3	カタログ、学会等の文献又は国内・海外で の使用実績(販売実績)等	P9					○		「添付資料」	○		
20	添付4	申請部品の写真	P19～P20						◎	「新規申請」			
21	添付5	申請部品のサンプル	P19～P20									◎	

継続申請のうち、部品の区分を変更したい場合は、新たに工学的試験評価やフィールドテストが必要となる場合があるため、事前に、事務局までご相談ください。

3. 様式作成方法の概要

申請の種類に応じて必要な様式を作成してください。記載漏れや不十分な記入を含め、書類に不備がある場合は無効となる場合があります。漏れがないよう、十分に注意してください。

3.1. 様式の作成、入力方法概要

各様式は、各ファイルの【入力用】入力用フォーム、または、【入出力用】様式の入力欄に記入することで完成します。共通項目を【入力用】入力用フォームに記入し、それ以外の項目を各様式の該当箇所に入力します。

入力方法は、図2、図3に示すような自由記述（クリーム色の背景に青枠）、または、選択入力（グレーの背景に青枠）の2種類あります。選択入力には、プルダウンリストからの選択や、チェックボックスからの選択（複数回答可の場合など）などがあります。リストからの選択では、項目によって、該当するがない場合に、自由記述が可能な項目もあります。

※入力の際の注意事項は、コメントに記載しています。作成時に参照してください。

図2 【入力用】入力用フォームイメージ

1	A	B	C
2	※必要に応じて枠を広げて下さい。 ※セルの追加削除は行わないで下さい。		
3			
4	記載項目	記載内容	説明
5	基本情報		
6	事業所名		
7	新規・価格変更の別		【選択して下さい】
8	申請番号		

図3 【入出力用】様式イメージ

1	工学的試験評価概要		様式A-5
2			
3	申請番号：	部品番号：	
4			
5	メーカー名：	備考（部品名）：	
6			
7			
8	添付書類：	添付書類タイトル：	
9	☐ 無		
10	☐ 試験報告書	有	
11	☐ 試験結果証明書	有	
12	☐ 試験後・試験品運送関連資料	有	
13	☐ その他	有	
14			
15	工学的試験評価の必要性：		
16	☐ 試験評価が必要ない場合は以下の項目に記載する必要はありません		
17	規格/基準の適用状況：		
18	☐ 規格も取った	名称	
19	☐ 規格も取った	名称	
20	☐ 規格/基準が適用された部分も取った	名称	
21	☐ 社内基準も取った	名称	
22	☐ 社内基準も取った	名称	
23	☐ その他	名称	
24			
25	マークの有無：	マーク取得時の試験実施の有無：	
26	試験実施レベル：		
27	評価内容、及び試験条件：		
28			

(1) 目次

(使用するファイル:「1 新規申請.xlsm」)

様式、資料等を作成、編集後、ページを記入してください。不要な項目は削除してください。

(2) 新規申請

①申請基本様式 (様式 A-1～A-3、A-8)

(使用するファイル:「1 新規申請.xlsm」)

- A-1…【入力用】入力用フォームに記入することで完成します。印刷後、忘れずに代表者印を捺印してください。
- A-2、A-3…入力欄に必要事項を入力してください。
- A-8…【入力用】入力用フォームに記入すると返却先が自動的に入力されます。必要に応じて書き換え、併せて「希望する返却方法」を選択してください。

②挙証資料 (様式 A-4～A-7)

(使用するファイル:「2 挙証資料.xlsx」)

- A-4～A-6…入力欄に必要事項を入力してください。
- A-7…様式 A-6 に記入することで完成します。

(3) 継続申請

①申請基本様式 (様式 B-1～B-3)

(使用するファイル:「3 継続申請.xlsm」)

- B-1…【入力用】入力用フォームに記入することで完成します。印刷後、忘れずに代表者印を捺印してください。
- B-2、B-3…入力欄に必要事項を入力してください。

(4) 出荷数調査

(様式 C-1～C-2) (使用するファイル:「4 出荷数調査.xlsx」)

- 完成用部品の国内向け出荷個数を把握することにより、どのような完成用部品がどれだけ使われているかを把握することにより、どのような機能を持つ義肢・装具・座位保持装置が用いられているか明らかにしたり、完成用部品に係る費用金額の把握・予測に役立てたりするため、継続申請に併せて、平成30年度時点で完成用部品が収載されている場合、もしくは平成30年度以降にメーカー名・型番不特定項目に対応した部品(鎌持ち金具、先ゴム等)の販売実績がある場合、提出をお願いします。
- C-1…入力欄に必要事項を入力してください。
- C-2…入力欄に必要事項を入力してください。メーカー名・型番を特定しない形で収載されている一部の部品について、設定価格が現状に即しているか確認するため、平成30年度に補装具製作事業者向けの販売実績のある事業者にご提出いただきます。取扱はあるが、価格が合わず出荷できない場合には、出荷数は記入せずに、販売希望価格・費用構成を記入してください
 - 当該出荷数(平成30年度)
 - 平均販売価格(平成30年度、平成31年度・令和元年度)
 - 費用構成

- 対象となる完成用部品の項目（同じ内容を様式 C-2 に表示）

殻構造義肢	義手用部品	手先具 E 作業用手先具	鎌持ち金具
			曲鉤
			鋏持ち金具
			物おさえ
		その他 フック用先ゴム	
	義足用部品	その他 その他の部品	D 先ゴム
E 踵ゴム			
F スプリングゴム			
骨格構造義肢	義手用部品	外装部品 フォームカバー	その他のフォームカバー
		義足調整用部品 コネクタ	ソケットアダプタ・その他 その他の TC 型ソケット取付金具
装具	下肢装具	その他	標準靴
	上肢装具	把持装具用部品	フレクサーヒンジ
	体幹装具	斜頸枕用部品	

4. 申請書類作成に関する留意事項（共通事項）

4.1. 機種依存文字について

様式の記入にあたっては、Excel セル内での強制改行（alt + Enetr）や機種依存文字は使用しないでください。（申請書類をまとめて処理する過程で、文字化け等の不具合が起こる恐れがあります）

機種依存文字の種類	対応例
半角カナ、半角中黒	全角文字にする
丸数字（①、②、③・・・）	カッコと数字を組み合わせる
ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・・・、i、ii、iii・・・）	アルファベットを適宜組み合わせる
全角 1 文字で複数の文字・記号を含んだもの（㊦、㊧、cm、m ² 、m ³ 、襦など）	適宜使用可能文字を組み合わせる

入力内容に強制改行や機種依存文字が含まれていた場合、エラー表示（文字色が赤になる）があります。この場合は適宜修正してください。

4.2. 複数サイズがある部品の申請方法について

- 同様の構造で複数のサイズがある場合は以下のように申請してください。
 - サイズにより価格や適応体重等が異なる場合…サイズごとに申請してください。（1 件の申請にまとめないでください。）
 - サイズによる価格や適応体重等の違いがない場合…1 件の申請にまとめてください。その際、サイズ違いがある旨、各様式の備考欄に記載してください。
 - サイズ違い等により複数の部品の申請を行う場合には、工学的評価及びフィールドテストに

ついて共通の結果を用いることができます。ただし、適応体重が異なるなどの理由で複数の部品の申請を行う場合には、適応体重に対応した工学的評価結果が必要となります。共通の結果を用いる場合は、以下のとおり取り扱ってください。

- ① 一番若い申請番号である部品分の様式 (A-6 または A-7) を作成。各様式の「申請番号」欄に該当する全ての部品の申請番号を列記
- ② 他の部品の様式 (A-6 または A-7) は、申請番号欄に、「〇〇 (一番若い申請番号)」参照と記入し、他の項目の記入は全て省略。(様式の 2 枚目以降の印刷物は不要です)。

5. 新規申請書類作成に関する留意事項

5.1. 様式 A-2 の記入方法

- 各欄は、障害保健福祉部長通知「補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準に係る完成用部品」(以下「指定基準」という。)の項目に則り記載してください。
- システムとして申請する場合は、同じシステムの部品が連番になるように記入してください。

申請番号	申請する全ての部品に付番してください。(1 番から通番号)
申請事業者名	貴社名を記入してください。申請事業者名は過去に申請されている名称で選択式です。新規参入や社名変更の場合は、直接入力して下さい。
補装具製作業者向販売価格 (申請価格)	義肢装具等の製作業者に貴社が販売する際の標準的な価格を記入してください。
メーカー名、部品番号	指定基準の使用部品欄に相当するものです。
備考 (部品名)	指定基準の備考欄に相当し、部品そのものの名称を記入してください。
区分	殻構造義手、殻構造義足、骨格構造義手、骨格構造義足、座位保持装置の各種目について、指定基準に合わせて「区分」「名称」「型式」を選択してください。複数の種目・項目に該当する場合は、「区分 1」～、「区分 4」により、必要な「区分」「名称」「型式」欄を全て選択してください。

5.2. 様式 A-3 の記入方法および添付 2 の作成方法

【様式 A-3 について】

	国内製造部	輸入部品
1. 国内製造部品の価格根拠	○記入してください	
2. 輸入部品の価格根拠		○記入してください。
3. 同分類コード部品との比較	部品の区分・名称・型式を選択すると、同じ型式（同じ分類コード）の平成 31 年度既収載部品の最高標準価格が表示されます。申請価格がこれより高い場合は、記入してください。	
4. 【既に国内販売実績がある場合のみ】国内販売価格	新規申請部品について、既に国内での販売実績がある場合、記入してください。	
5. 価格背景の追加説明	下記条件のいずれか 1 つ以上に該当する場合、記入してください。 ・標準価格に対する製造原価が 50%以下である場合 ・標準価格に対する輸入原価が 55%以下である場合 ・見込みの利益率が 10%以上である場合 ・既に国内販売実績のある部品について、国内販売価格が申請価格と異なる場合	

- 申請する全ての部品について記入してください。
- 記入箇所は青い太枠の欄で、その他の欄（申請番号、申請事業者、メーカー略称、型番（部品番号）、申請価格（希望新標準価格））は、様式 A-2 の記入内容から自動的に表示されます。
- 記入内容に不備がある状態では、記入文字が青になります。（初期状態は青）文字色が黒になり不備がないことを確認した上で提出してください。不備がある場合は、印刷範囲外に「●」から始まるメッセージとして表示されますので、ご確認ください。

※メッセージ例

「●費用構成欄が正しく記入されていません。」

「●同分類コード最高価格を超える価格である場合、特記すべき機能（列 CP）について記載してください」

「●理由・背景説明（列 CW）をご記入ください。」

【具体的な記載方法】

1-1. 標準価格に占める費用・利益の割合	● 費目・部品申請者の利益の合計が100%となることを確認してください。 ● 造原価のうち「原材料費」は購入部品等の外部購入分の費用を含みます。 ● 企業グループ内の別会社分は「原材料費」と「その他」に分割して計上してください。 ● 製造原価のうち「その他」は、直接人件費・直接経費を言います。 ● 工場経費と販管費の区分が明確であれば工場経費を算入できます。 ● 製造原価について、原材料費とその他の合計が製造原価小計と一致しているか確認してください。 ● 開発費（回収分）は、開発費を生涯生産予測量で除した値です。 ● 不確定要素が多ければ、事業全体の開発費の売上高比を用いても構いません。
2-1. 標準価格に占める費用・利益の割合	● 費目・部品申請者の利益の合計が100%となることを確認してください。 ● 輸入原価項目に関しては、添付するインボイスなど、当該部品輸入通関の際の単価を示す書類の写しに基づいて記載してください。 ● 輸入原価について、輸入商品原価と輸入コストの合計が輸入原価小計と一致しているか確認してください。なお、輸入商品原価と輸入コストの合計が輸入原価小計と一致しているか確認してください。
2-2. 輸入品の外国販売価格・適用為替レート	● 外国販売価格・適用為替レートについてご記入ください。 ● インボイス記載価格（必須）……インボイスに該当する輸入元国名、記載価格、表示価格の通貨名、為替レートに掛かる情報をご記入ください。為替レートについては、レートの単位、数値のほか、記載レートの種別（〇〇銀行のTTSレート 2018/5/1 など）、を記入して下さい。なお記載レートは、以下のいずれかを記載してください。 (1)平成31年1月以降、実際に取引があった場合はその時点のレート (2)平成31年1月以降、取引がない場合は、同年9月末までの時点で適切と判断したレート ● 外国販売価格……米国、英国、仏国、独国等における販売単価および為替レートに関する情報を、可能な限りお書き下さい。（1か国以上。為替レートは不要） ● 添付インボイスのファイル名……様式A-2の記載内容からファイル名が自動的に表示されます。もし何らかの事情で異なるファイル名を用いる必要がある場合は、正しいファイル名を記入してください。 ● 何らかの事情でインボイス記載の部品型番が申請する型番と異なる場合、インボイス上での記載型番ならびに両者の型番が異なる理由について記入してください。
3. 同分類コード部品価格との比較	様式A-2の区分・名称・型式から特定される同一分類コードに属する平成30年度既収載部品の最高標準価格が表示されます。申請価格がこれより高い場合は、当該申請部品の特記すべき機能についてご記入ください。
4. 【既に国内販売実績がある場合のみ】国内販売価格	申請部品について国内での販売実績がある場合、その販売価格をご記入ください。
5. 価格背景の追加説明	● 「◇」印が表示された項目について、理由／背景説明欄をご記入ください。 ● 製造・売上原価率の設定の必要性をケースごとに把握し、妥当性を示す根拠を検証するため、可能な限り分かり易く記入してください。 ● 記載いただく基準は、過去の完成用部品の価格根拠資料を参考にしています。

【添付2】

- 輸入部品は、「標準価格に占める費用・利益の割合」「輸入品の外国販売価格・適用為替レート」の根拠資料として、輸入通関の際の金額の証拠となる書類（インボイスなどの書類の日付、単価、該当部品名等が分かる部分）の写しに、日付、単価、該当部品名等を確認できる部分をマーキングする等により示した上で、PDF ファイルにして提出してください（添付 2）。
- ファイル名のつけ方…「INVOICE_新規+申請番号（三桁）.pdf」
※申請番号は、十の位、百の位の「0」を省略せず、必ず三桁で記載すること。
- インボイスに記載されている商品名称が、申請部品番号（価格変更申請の場合は登録部品番号）と異なる場合、対応する商品名称が記載されている箇所に該当部品番号をご記入ください。

5.3. 「2 挙証資料」の記入方法

- 様式 A-2 の記載に沿って記載してください。
- 様式 A-2 で複数の区分を記載した場合は、そのいずれかに沿って記載してください。

5.4. 様式 A-4（部品概要）の記入方法および様式 A-4-2 の作成方法

- わかりやすく簡潔に記入してください。
- 「カタログ」「マニュアル」「サービスマニュアル」「その他」の部品に添付する資料にチェックマークをいれてください。
- 「部品構造図」、「組立・加工・取付例」には、写真または図を貼りつけてください。その際、ファイルサイズが小さくなるようにして JPEG で貼りつけるなど、留意してください。
- システムの場合は、添付資料として、システム構成がわかる図又はマニュアルを添付してください。また、システム全体の中での機能が、明確にわかるように記入してください。

対象	対象とする障害者の疾患又は障害名を記入してください。
機能（効果）	該当部品を使用した場合の作用及び効果を記入してください
注意・禁忌事項	部品を使用する場合の注意事項について記入してください。

5.5. 様式 A-5（工学的試験評価）の記入方法および添付 A-5-2 の作成方法

【参考資料について】

- 工学的試験評価の参考資料として、以下をホームページで配布しています。
ダウンロードの上、ご参考ください。
 - 完成用部品に関する工学的規格Ⅰ（義肢装具関係）…参考資料 1
 - 完成用部品に関する工学的規格Ⅱ（座位保持装置関係）…参考資料 2
 - 完成用部品の工学的試験評価とフィールドテストの要件、JIS 規格との対応（令和元年度版）…参考資料 3
※試験の必要性の有無、関連する規格について
 - 座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法（改訂 2 版）…参考資料 4

【工学的試験評価の実施について】

- 参考資料 3 を参照の上、JIS または ISO に試験規格がある場合は、規格に沿って試験評価を

実施してください。

- JIS または ISO に試験規格がない場合でも、関連した参考に出来る規格がある場合は、できるだけ関連規格を準用して試験を実施してください。
- 参考に出来る規格がない場合は、必要と考えられる試験評価を実施してください。
- 座位保持装置の工学的試験については、「座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法（改訂2版）」（参考資料4）に基づいて試験評価を実施してください。

【記載内容について】

- 内容に不備があっても記載された内容で審査をしますのでご注意ください。
- 様式 A-5 と様式 A-5-2 の内容が異なっている場合は、原則として様式 A-5-2 の内容を優先します。
- J I S（日本工業規格）に試験規格がある部品については、必ず本様式を提出してください。試験規格がなくても関連した参考に出来る規格がある場合は、できるだけ関連規格を準用して試験を実施してください。
- 独自の工学的試験評価を行った場合も同様に本様式を提出してください。独自の試験評価を行った場合、試験評価内容及び試験条件、試験装置・試験機、試験期間、試験結果の概要、試験実施施設名、担当者氏名等を必ず記入してください。
- 規格に規定されていない試験機を使用した場合は、試験機の概要（製作メーカー、仕様、動作の概要、写真等）についてできる限り記入又は添付してください。
- 試験機関により発行された試験報告書や証明書がある場合は PDF ファイルとして添付してください。（添付 A-5-2）
- 様式 A-5 と添付 A-5-2 の内容が異なっている場合は、原則として添付 A-5-2 の内容を優先します。
- 輸入製品については工学的試験評価内容について輸入先メーカー又は試験機関に記入してもらい、英語の場合はそのまま提出してください。また英語以外の外国語は日本語に翻訳したものを提出してください。この場合、原本も併せて提出してください。
- 輸入製品などで名称や型式が日本国内で変更される部品の試験評価については、日本国内の名称、型式と生産国内での名称、型式についての対応を備考欄などに記載してください。
- 複数の試験を実施した場合は2ページ目を複数枚作成してください。
- 参考資料は以下のとおりです。
 - 義肢装具の規格…参考資料1
 - 座位保持装置の規格…参考資料2
 - 試験の実施が必要かの参考資料…参考資料3。
 - 座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法（改訂2版）…参考資料4
- 試験の必要性について判断が困難な場合は事前にご相談ください。

5.6. 様式 A-6（フィールドテスト結果）および様式 A-7 の記入方法

【フィールドテストの実施について】

- 臨床的強度、安全性（挟み込み等）、性能・機能、調整方法について、以下の要件に従い、フィールドテストを実施してください。
 - 実施期間…述べ使用日数 90 日以上（評価期間 90 日間ではありません）
 - 実施人数…被験者 3 名以上

- 実施施設・・・製作担当・フィールドテスト担当それぞれが国内の2施設以上で実施。

実施施設の2施設以上の考え方

申請者 K社				
	被験者 1	被験者 2	被験者 3	要件
製作所	A製作所	B製作所	C製作所	○
フィールドテスト	D施設	E施設	F施設	
製作所	K1製作所	B製作所	C製作所	○
フィールドテスト	D施設	E施設	F施設	
製作所	K1製作所	K1製作所	C製作所	○
フィールドテスト	D施設	E施設	F施設	
製作所	K1製作所	K1製作所	K1製作所	×
フィールドテスト	D施設	E施設	F施設	
製作所	K1製作所	K1製作所	K2製作所	×
フィールドテスト	D施設	E施設	F施設	
製作所	A製作所	B製作所	C製作所	○
フィールドテスト	K1施設	E施設	F施設	
製作所	A製作所	B製作所	C製作所	○
フィールドテスト	K1施設	K施設	F施設	
製作所	A製作所	B製作所	C製作所	×
フィールドテスト	K1施設	K1施設	K2施設	
製作所	K1製作所	K1製作所	C製作所	○
フィールドテスト	K1施設	K1施設	F施設	
製作所	K1製作所	K1製作所	C製作所	○
フィールドテスト	K1施設	E施設	K2施設	

※黄色背景は、K社のグループ会社

※グループ会社とは、資本において親子関係のある一連の組織、または、当該部品の開発において共同研究者となっている組織をいう。

※1つの症例は、1つの部品につき1人の被験者から得ることを原則とする。

- フィールドテスト担当者・・・医師、義肢装具士、理学療法士、作業療法士等の医療専門職
- 製作担当者・・・当該部品を加工・組立等を行った義肢装具士または技術者
- 客観性を保つため、可能な限り、自社以外の施設でのテストを推奨します。
- ヘルシンキ宣言に示された倫理規範を尊重して実施してください。
- 被験者の選定にあたっては、当該部品の適応する症例に該当する方を選定してください。また、当該部品で想定する使用場面での評価を実施してください。
- 一般的に症例が少ないと思われる疾患又は障害で、3症例を集めるのが困難な場合等については、事前にご相談ください。

【記載内容について】

- フィールドテスト結果には、同様のテストが再現できるように評価期間、試験条件、被験者情報を詳細に記入してください。（使用した完成用部品は全て記入してください）
- 「被験者の意見」は、危険性や不安感がないか、快適であるか等、被験者がどのように感じたか、可能な限り詳細に記入してください。本人が記入できない場合、介助者が代わりに記入してください。
- 「製作担当者の評価」は、製作担当者が組立加工の際に用いるマニュアルの充実度、加工のし易さや危険性について客観的に評価して記入してください。（製作担当者へ確認がとれるよう、所属、連絡先等を明記してください）。
- 「フィールドテスト担当者の評価」は、フィールドテスト担当者が操作性や使用上の危険性が無いか等について客観的に評価して記入してください。（例えば、挟み込みや故障による危険性の有無等）特に部品単体では判断できない完成時の安全性に関しては、十分確認してください。（フィールドテスト担当者へ確認がとれるよう、所属、連絡先等を明記してください）
- 同時に複数の部品のフィールドテストを実施した場合は、申請完成用部品毎に様式 A-6 を作成し、「同時にフィールドテストを行う部品の申請番号」の欄には該当する申請番号を全て記入し、評価欄には申請部品について記入してください。
- 「装着時写真」は、被験者が申請部品を使用して義肢装具等を装着した状態のものを貼付し、該当部品がわかるよう図示してください。ただし、被験者個人が特定できないようにしてください。
- 様式 A-7 は、様式 A-6 に記入することで完成します。

5.7. 様式 A-8 完成用部品サンプルの返却

- 【入力用】入力用フォームに入力すると、自動的に返却時連絡先が入力されます。返却先が異なる場合は、適宜書き換えてください。併せて、希望する返却方法を選択入力してください。

6. 継続・変更・削除申請書類作成に関する留意事項

6.1. 様式 B-2、様式 B-3 の記入にあたって（必要事項等）

継続・変更・削除申請で記入する項目

申請の内容			記入対象となる行	記入内容等				備考	
				様式B-2			様式B-3		その他の様式
				右記以外の項目	「最終年度」の項目の選択	「メモ」欄への記入			
基本的な記入内容	継続	該当する部品の行		継続掲載希望		輸入部品の場合：様式への記入とインボイス			
	令和元年度で削除	※ただし、いずれかの変更申請のある場合は「各種変更」にもなう追加の記入内容」の該当する行を参照		販売中止 ただし令和元年度までで削除	理由を記入	記入不要			
	令和2年度で削除			販売中止 ただし令和2年度まで修理対応可能	理由を記入	輸入部品の場合：様式への記入とインボイス			
	令和3年度で削除			販売中止 ただし令和3年度まで修理対応可能	理由を記入				
	令和4年度で削除			販売中止 ただし令和4年度まで修理対応可能	理由を記入				
	令和5年度で削除			販売中止 ただし令和5年度まで修理対応可能	理由を記入				
	令和6年度で削除			販売中止 ただし令和6年度まで修理対応可能	理由を記入				
各種変更にもなう追加の記入内容	殻・骨格等、区分、名称、型式の変更	該当する部品の行	「殻・骨格等」、「区分」、「名称1」、「名称2」、「型式1」、「型式2」を変更		理由を記入	輸入部品の場合：様式への記入とインボイス		新規申請と同様に、変更先の名称・型式で求めている収載条件を満たしている必要がある。	
	殻・骨格等、区分、名称、型式の追加	元となる部品の行	（他の変更がなければ）そのまま						
		最下部の表（部品追加用の欄）	元の部品と同じ内容を記入 ただし ・「部品コード」欄は空欄に ・「殻・骨格等」、「区分」、「名称1」、「名称2」、「型式1」、「型式2」については追加希望する内容を選択		理由を記入			新規申請と同様に、追加先の名称・型式で求めている収載条件を満たしている必要がある。	
	メーカー、品番、部品名の変更	該当する部品の行	変更がある部分を新しい内容で書き換え		変更理由を記入			（旧メーカー、旧品番、旧部品名）を記入	
	申請事業者（取扱事業者）変更（他社へ移る）	該当する部品の行		販売中止 ただし令和元年度までで削除	取扱変更先事業者名を記入	記入不要			
		該当する部品の行		販売中止 ただし令和元年度までで削除					
	申請事業者（取扱事業者）変更（他社から受ける）	最下部の表（部品追加用の欄）	（他の変更がなければ）元の部品と同じ内容を記入 ただし ・「部品コード」欄は空欄に ・「申請事業者」欄を新しい内容で書き換え	「継続掲載希望」等	以前の申請事業者（取扱事業者）名を記入 ・以前の「部品コード」を「メモ」欄に記入（「部品コード」欄は空欄にすること）	輸入部品の場合：様式への記入とインボイス			
	価格変更	該当する部品の行	「標準価格（申請価格）」欄を希望する価格に書き換え		価格変更理由を記入	国内製造品の場合：様式への記入 輸入部品の場合：様式への記入とインボイス 価格引き上げ率が20%以上の場合：「理由・背景説明」欄への記入			
	部品を分割する場合	元となる部品の行		分割前の掲載内容を残さない場合：「販売中止 ただし令和元年度までで削除」 残す場合：「継続掲載希望」等		統合前の掲載内容を残さない場合：記入不要 残す場合： 輸入部品について、様式への記入とインボイス			
		最下部の表（部品追加用の欄）	部品の内容に応じて記入 ただし ・「部品コード」欄は空欄に	「継続掲載希望」等	・分割前の元となった部品の「部品コード」を「メモ」欄に記入（「部品コード」欄は空欄にすること）	国内製造品の場合：様式への記入 輸入部品の場合：様式への記入とインボイス	様式A-4 部品概要	分割前の品番を旧品番〇〇〇の一部と記入	
	部品を統合する場合	元となる部品の行		統合前の掲載内容を残さない場合：「販売中止 ただし令和元年度までで削除」 残す場合：「継続掲載希望」等		統合前の掲載内容を残さない場合：記入不要 残す場合： 輸入部品について、様式への記入とインボイス			
		最下部の表（部品追加用の欄）	部品の内容に応じて記入 ただし ・「部品コード」欄は空欄に	「継続掲載希望」等	・統合前の元となった部品の「部品コード」を「メモ」欄に記入（「部品コード」欄は空欄にすること）	国内製造品の場合：様式への記入 輸入部品の場合：様式への記入とインボイス	様式A-4 部品概要	統合前の品番と記入（〇〇〇と〇〇〇の統合部品）	

6.2. 様式 B-2 の記入方法

- 平成 31 年度指定通知に収載されている部品は、様式 B-2 にすでに入力されています。必要に応じて修正してください。

(1) 継続申請の場合

- 「最終掲載年度」欄で、「継続掲載希望」を選択してください。(初期値は「未選択」となっています。必ず確認してください)

(2) 削除申請の場合

- 「最終掲載年度」欄で、削除する年度を選択してください。(初期値は「未選択」となっています。必ず確認してください) 選択肢は以下のとおりです。
 - 令和元年度で削除
 - 販売中止 ただし令和2年度まで修理対応可能
 - 販売中止 ただし令和3年度まで修理対応可能
 - 販売中止 ただし令和4年度まで修理対応可能
 - 販売中止 ただし令和5年度まで修理対応可能
 - 販売中止 ただし令和6年度まで修理対応可能
- 製造中止、販売中止等による削除では、修理等の対応が可能なものについては、保守対応に当該完成用部品の製品もしくは部品の確保が望まれます。削除申請時には修理対応期間も考慮して修理対応期間を選択してください。

(3) 変更申請の場合

- 変更及び価格変更については、変更を希望される部品の該当セルを直接修正してください。
- 直接修正すると変更を加えたセルの色が変わります。
- 変更を希望される全ての事項に対して、必ず理由を記入してください。
- 新たな部品との組み合わせなどにより既収載部品を分離して再登録する場合、一覧の下に追加として部品を記入する欄を設けています。増える部品は、「元の部品コード」欄を入力せず空白にしたまま、殻・骨格等、区分、名称1、名称2、型式1、型式2を選択してください。なお、「メモ」欄に元の部品の部品コードを記入してください。対応する申請事業者、標準価格、メーカー略称、型番、備考(部品名称)は直接入力してください。
- なお、殻・骨格等、区分、名称1、名称2、型式1、型式2はプルダウンメニューにより選択できるようになっています。記入(変更)したいセルをアクティブセルにすると、セルの右下に下向き三角のボタンが表示され、これをクリックすると選択メニューが表示されます。選択肢から選ぶと、右隣のセルの項目の選択肢のリストがこれに対応した内容になります。選択の状況によって、その次(右隣)の項目の選択肢に、空白しか表示されない場合があります。その場合は空白を選択してください。空白を選択したのが区分、名称2の場合、次の項目である名称1や型式1では(空白でない)選択肢が表示される場合があります。

例) 殻・骨格等、区分、名称1、名称2、型式1、型式2の選択に空白が含まれる場合

殻・骨格等	区分	名称1	名称2	型式1	型式2	(備考)
殻構造義肢	義手用部品	肩継手	(空白)	A 隔板式	(空白)	名称1までの選択に対し、「名称2」では選択肢に空白しか表示されない。ここで空白を選択すると「型式1」では選択肢が表示される。「型式1」で「A 隔板式」を選択すると、「型式2」の選択肢には空白しか表示されない。ここでも空白を選択。
骨格構造義肢	義足用部品	足部調整用部品	バンパー	(空白)	(空白)	名称2までの選択に対し、「型式1」では選択肢に空白しか表示されない。ここで空白を選ぶ。次の「型式2」の選択肢でも空白しか表示されないのので、空白を選ぶ。
装具	下肢装具	膝継手	(空白)	A 遊動式	1 普通型	名称1までのメニュー選択に対し、「名称2」では選択肢に空白しか表示されない。空白を選ぶと「型式1」で選択肢が表示される。
座位保持装置	(空白)	その他	(空白)	カットアウトテーブル	(空白)	それぞれ左隣の項目までのメニュー選択に対し、「区分」、「名称2」、「型式2」のメニュー選択肢に空白しか表示されない。「区分」、「名称2」で空白を選ぶと、それぞれ次の項目「名称1」、「型式1」では選択肢が表示される。

なお空白の部分のセルには文字が入りません。該当箇所は、手入力で全角スペース、半角スペースなどを入力しないようにしてください（見た目は同じようでも、分類コード欄が正しく表示されなくなります）。

- 構造・材質の変更を行った場合は、原則として新規申請が必要となります。ご不明な点は事前にご相談ください。

6.3. 様式 B-3 の記入方法および添付 2 の作成方法

- 国内製造の既収載部品のうち価格変更を希望するもの、ならびに輸入既収載部品については、様式 B-3 により価格根拠を別途提出してください。
- 様式 A-3 と同じ方法で記入します。「5.2 様式 A-3 の記入方法および添付 2 の作成方法」(P7) を参照してください。ただし、下記の点様式 A-3 と異なります。

- 輸入部品にかかる申請の場合に必要なインボイスのファイル名は

「INVOICE_+部品コード」.pdf

としてください。このルールによるファイル名を「2. 輸入部品の価格根拠」－「2－2. 輸入品の外国販売価格・適用為替レート」－「添付インボイスのファイル名」欄に示しています。もしファイル名に異なるものを用いる必要がある場合は、この欄を修正し実際に提出するファイル名を記入してください。

- 「3. 価格背景の追加説明」欄の記入対象が一部異なります。下記のとおりです。
 - ・ (国内製造部品について) 申請価格に対する製造原価が 50%以下である場合
 - ・ (輸入部品について) 申請価格に対する輸入原価が 55%以下である場合
 - ・ 見込みの利益率が 10%以上である場合

- ・（価格変更申請について）価格引き上げ率が元の価格の20%以上である場合

7. 出荷数調査作成に関する留意事項

- 本調査の生データは、事務局のみが閲覧するものとします。回答の際、当該データファイルには閲覧パスワードを設定いただきます。提出いただいたデータを閲覧・使用する際はインターネット等から切り離された端末上で運用し、データの記録媒体は、施錠可能なキャビネット等に保管します。
- 取り扱いに万全を期すため、パスワードを設定した上で提出をお願いします。

7.1. 様式 C-1 の記入方法

- シート「回答者様情報」に事業所・回答担当者様等の情報を、シート「【入出力用】様式 C-1」に回答を記入してください。
- 回答は、原則として「平成30年4月～平成31年3月までの国内向け出荷数をご記入ください」。
- 「(単位：個)」…当該期間における貴社の該当完成用部品国内向け出荷数。ただし、国内向け出荷数の切り分けが困難な場合は、列Wにある記入箇所に総出荷数をご記入ください。
- 記入不要な行は薄い黄土色になっています。初出の行の部品についてのみ記入してください
 - 同一部品が複数の区分で収載されている場合（初出以外の行）
 - 平成31年度指定された部品
- ただし、単一の部品を変更申請により複数に分けて登録し直した場合や、逆に複数に分けて登録されていた部品を単一の部品として登録し直した場合等、前年度以前に収載されていた部品も黄土色になっている場合があります。その場合は出荷数のご記入をお願いします。

7.2. 様式 C-2 の記入方法

- 現在の価格体系になった当初より販売しているもの、もしくは同等品を記入対象とします。
- 記入対象品を扱っている場合には、様式 C-2 の各項目のうち記入可能な項目をご記入ください。

(1) 該当部品の型番等、出荷量、補装具製作事業者向け販売価格

- 型番等（ある場合）…該当部品に型番等が附されている場合、それを記入してください。
- 出荷数…平成30年4月～平成31年3月までに、国内の補装具製作事業者向けに販売した出荷数を記入してください。
- 補装具製作事業者向け販売価格…平成30年4月以降現在に至るまでに、国内の補装具製作事業者に向けて販売した価格の平均値を記入してください。

(2) 該当部品の補装具製作事業者向け販売価格に占める費用・利益の割合について

（製造原価、販売管理費・中間業者による流通経費等マージン等、開発費、部品販売者の利益）

- 費目・部品販売者の利益の合計が100%となるようご注意ください（列AEに100%と表示され、AFに「●」が表示されないことをご確認ください）。

- 製造原価のうち「原材料費」には、購入部品等の外部購入分の費用を含みます。
- 企業グループ内の別会社分は「原材料費」と「その他」に分割して計上してください。
- 製造原価のうち「その他：直接人件費・直接経費を言います。
- 工場経費と販管費の区分が明確であれば工場経費を算入しても可です。
- 製造原価に関して、原材料費とその他の合計が製造原価小計と一致しているかご確認ください。
- 開発費（回収分）：開発費を生涯生産予測量で除した値です。
- 不確定要素が多ければ、事業全体の開発費の売上高比を用いても可です。

(3) 背景説明

下記のいずれか1つ以上に該当する場合、その理由・背景をご記入ください。（該当する項目に「◇」印が表示されます。）

- 販売価格に対する製造原価が50%以下である場合
- 利益率が10%以上である場合

8. 電子媒体の作成方法

必要なファイルは、ファイル名を変更した上で電子媒体（CD または DVD）に保存して提出してください。ファイルが不足している場合は無効となる場合がありますので、作成漏れがないよう、十分注意してください。

8.1. ファイル名の変更方法

ファイルの作成にあたっては、以下に示す名称で、ファイル名を変更してください。
ファイル名の「部品コード」については、「3. 継続申請」の様式 B-2/B-3 のシートにある「部品コード」（列 AK）記載の「数字5桁-数字6桁」からなる記号をご確認ください。

※様式 A-1、A-2、B-1、B-2 と様式 A-4～7 で、ファイル名の付け方が異なりますので、注意してください。

種類	内容	作成方法	ファイル名	例
EXCEL ファイル	1. 新規申請.xlsm	事業者ごと	「新規＋申請事業者名」.xlsm ※ 拡張子が「xlsx」でないことにご留意ください。	新規国リハ製作所.xlsm
	2. 挙証資料.xlsx	部品ごと	「新規＋申請番号」.xlsx	新規 001.xlsx
	3. 継続申請.xlsm	事業者ごと	「継続＋申請事業者名」.xlsm	継続国リハ製作所3.xlsm
	4. 出荷数調査.xlsx	事業者ごと	「申請事業者名＋出荷数調査」.xlsx	国リハ製作所出荷数調査.xlsx
PDF ファイル	様式 A-1	事業者ごと	「申請事業者名＋A-1」.pdf	国リハ製作所 A-1.pdf
	様式 A-2	事業者ごと	「申請事業者名＋A-2」.pdf	国リハ製作所 A-2.pdf
	様式 A-4	部品ごと	「新規＋申請番号」.pdf ※1つにまとめること。	新規 001.pdf
	添付 A-4-2	部品ごと		
	様式 A-5	部品ごと		
	添付 A-5-2	部品ごと		
	様式 A-6	部品ごと		
	様式 A-7	部品ごと		
	様式 B-1	事業者ごと	「申請事業者名＋B-1」.pdf	国リハ製作所 B-1.pdf
	様式 B-2	事業者ごと	「申請事業者名＋B-2」.pdf	国リハ製作所 B-2.pdf
	添付 1 会社概要	事業者ごと	任意のファイル名	
	添付 2 インボイス	部品ごと	新規申請の場合 「INVOICE_新規＋申請番号 3 桁」.pdf	INVOICE_新規 001.pdf
			価格変更申請もしくは既収載輸入部品の価格根拠申請の場合 「INVOICE_＋部品コード」.pdf	INVOICE_10050-999999.pdf
	学会文献、国内外の使用実績等	部品ごと	任意のファイル名	
JPEG ファイル	部品の写真	部品ごと	「新規＋申請番号」.jpg	新規 001.jpg、新規 002.jpg

8.2. 電子媒体の作成方法

作成した各ファイルは、P2 に示す階層／フォルダに入れ、CD-R や DVD などの電子媒体に保存してください。

図4 ファイル保存イメージ



9. 印刷物の作成方法

以下の様式を印刷し、代表者の欄に捺印した上で提出してください。

- 新規申請を行う場合…様式 A-1
- 継続申請を行う場合…様式 B-1

10. 申請部品サンプルについて

申請部品サンプルについては、次の情報を記入したタグを取り付けて提出してください。また、タグを取り付けられない小さな部品は、一つずつ透明な袋に入れて袋にタグを付けて提出してください。

対象の申請部品以外にも申請時に送るものには、メーカー名が分かるタグを付けて下さい。

なお、同様の構造でサイズが複数ある申請部品のサンプルについては、できるだけ中間のサイズを提出してください。

【タグに記入する情報】

- ① 申請年度（令和元年度申請）
- ② 申請事業者名
- ③ 申請部品の一覧（様式 A-2）の申請番号
- ④ 部品名
- ⑤ メーカー名
- ⑥ 部品番号

(注意)

- 申請部品サンプルは、指定通知が発出されるまでは、国立障害者リハビリテーションセンターにおいて保管します。
- サンプルは、様式 A-8 に記入いただいた方法で返却します。返却に要する費用は、申請者の負担とします。
- 指定前に申請を取り下げる場合には、サンプルの返却に応じます。
- サンプルは、試用評価、工学的試験等を行う場合があり、消耗又は破損等が発生してもその責は負いません。

11. 提出方法および問合せ先

作成・準備した電子媒体、印刷物、申請部品サンプルは、以下の提出先に、送付または持ち込みにより提出してください。直接持ち込む場合は、事前に FAX かメールで予定をお知らせください。

指定申請に関してのお問い合わせも、以下の窓口で受け付けます。FAX またはメールでお問い合わせください。

※平成30年度までは国立障害者リハビリテーションセンターと厚生労働省の2カ所に提出していただいていたましたが、今年度より1カ所のための提出になります。

【送付先・問合せ先】

- 宛名 国立障害者リハビリテーションセンター
支援機器イノベーション情報・支援室 完成用部品担当
- 住 所 〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
- 電 話 代表：04-2995-3100 F A X 04-2992-6356
- メール youbou@rehab.go.jp

11.1. 様式 C-1/C-2 に係る提出方法

- 取り扱いに万全を期すため、これらの様式を含む「4. 出荷数調査」についてはパスワード設定をしたうえで、別途パスワードを、「出荷数調査」の件名でお送りください。

補足 1 Excel ファイルにパスワードを設定する方法

Excel 2010 / 2013 / 2016 の場合

- メニューバーの「ファイル」をクリック → 「名前を付けて保存」
 - 「名前を付けて保存」ウインドウ下部の「ツール」 → 「全般オプション」
 - 「読み取りパスワード」欄に設定するパスワードを入力して「OK」
 - 「パスワードの確認」ウインドウで、確認のためパスワードを再入力し「OK」
 - 必要に応じ保存先フォルダやファイル名を修正のうえ「保存」をクリックして保存
 - 次回ファイルを開くときは、パスワードを求められるようになる。
- の手順にてご設定ください。

Excel 2007 の場合

- 「Office」ボタン（Excel 2007 ウインドウの左上角付近の丸いボタン）をクリック
 - 「名前を付けて保存」
 - 「名前を付けて保存」ウインドウ下部の「ツール」 → 「全般オプション」
 - 「読み取りパスワード」欄に設定するパスワードを入力して「OK」
 - 「パスワードの確認」ウインドウで、確認のためパスワードを再入力し「OK」
 - 必要に応じ保存先フォルダやファイル名を修正のうえ「保存」をクリックして保存
 - 次回ファイルを開くときは、パスワードを求められるようになる。
- の手順にてご設定ください

補足２：機種依存文字

※Windows 使用 PC 上で閲覧可能な機種依存文字を一覧にまとめました。

半角文字		全角文字 (1文字の漢字以外のもの)		全角文字 (1文字の漢字ながら機種依存文字であるもの。 機種依存文字のなかには使用可能漢字の異体字の一部が含まれます。)															
・	メ	①	㊦	續	扱	愠	櫛	琪	蕙	鉞	鉅	加	鉅	楨	猪	羨	鈇	顥	
。	モ	②	㊧	襲	雙	惲	毳	琚	董	鉸	鉶	劼	彳	榑	獮	羨	鈇	飯	
「	ヤ	③	㊨	鎡	咤	慍	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	飼	
」	ユ	④	㊩	銑	咤	愷	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	餒	
、	ヨ	⑤	㊪	銑	咤	愷	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	館	
・	ラ	⑥	㊫	倍	咤	愷	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	醇	
ヲ	リ	⑦	㊬	咤	咤	愷	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	麟	
ア	ル	⑧	㊭	咤	咤	愷	汜	琮	藹	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	高	
イ	レ	⑨	㊮	精	坦	捷	涇	皐	詡	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	謁	
ウ	ロ	⑩	㊯	銀	拱	摠	涇	皐	詡	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	紛	
エ	ワ	⑪	㊰	昇	竣	摠	涇	皐	詡	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
オ	ン	⑫	㊱	弼	埔	擎	滓	晶	誦	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ヤ	・	⑬	㊲	一	塔	教	淙	皐	誦	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ユ	。	⑭	㊳	乞	塚	昀	清	益	諶	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ヨ		⑮	㊴	任	增	昕	流	皖	諸	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ツ		⑯	㊵	公	撫	昂	森	劭	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ー		⑰	㊶	仔	夊	昉	淘	砭	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ア		⑱	㊷	但	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
イ		⑲	㊸	必	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ウ		⑳	㊹	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
エ	ミ	㊺	㊺	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
オ	キ	㊻	㊻	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
カ	セ	㊼	㊼	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
キ	ム	㊽	㊽	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ク	ン	㊾	㊾	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ケ	アル	㊿	㊿	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
コ	ヘ	i	i	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
サ	リ	ii	ii	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
シ	ツ	iii	iii	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ス	カ	viii	viii	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
セ	ド	iv	iv	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ソ	ン	v	v	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
タ	ベ	vi	vi	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
チ	セ	vii	vii	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ツ	ミ	viii	viii	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
テ	ル	ix	ix	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ト	ル	x	x	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ナ	ル	I	I	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ニ	ル	II	II	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ヌ	ル	III	III	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ネ	ル	IV	IV	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ノ	ル	V	V	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ハ	ル	VI	VI	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ヒ	ル	VII	VII	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
フ	ル	VIII	VIII	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ヘ	ル	IX	IX	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ホ	ル	X	X	佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
マ	ル			佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ミ	ル			佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	
ム	ル			佞	夊	昉	湜	硯	謚	鉨	鉶	劼	彳	榑	玗	苜	鉀	舡	